



わき上がる 風でロマンの 町づくり

広報

肱川



1990 4月

No. 85



木造 2階建の 正山小学校落成

昭和25年度に建築された木造平家建床面積 829㎡の校舎は、大勢の卒業生をおくり出し、40年の風雨に耐えてきたがこの建物も昭和54年度の調査において危険校舎の認定を受け改築が必要となり平成元年度に約2億6千万円をかけ木造2階建床面積1367㎡のモダンな居住性に富んだ校舎に改築されました。

なお正山小学校(宮部博文校長)は、4月に新1年生10名を迎えて全校児童65名となります。

今月号の主な内容

＝町報＝

- ◆町の特産品花木立、五色かりんとう受彰……2
- ◆3月定例町議会……3
- ◆町職員30人異動……8
- ◆丸山公園を肱川町へ寄贈……10
- ◆社協だより……11
- ◆お知らせ……22

＝農林だより＝

- ◆きゅうり部会総会……12

- ◆花の万博……13
- ◆大切な森林……14
- ◆今月の農作業……15

＝公民館報＝

- ◆平成2年度公民館活動方針……16
- ◆転入された先生の紹介……18
- ◆PTAだより……20

町民のうごき

人口 3,601人 (-16)
 男 1,738人 (-10)
 女 1,863人 (-6)
 世帯数 1,006世帯 (-8)
 (平成2年3月31日現在)



町の特産品「花木立」が受彰 「五色かりんとう」

平成元年10月26日に愛媛県国際交流センター会議室において、県内で生産されているふるさと食品を対象として、愛媛県優良ふるさと食品コンクールが開催されました。

当町からは、肱川町森林組合から「スライスしたけ 花木立」ひじかわ特産開発公社から「五色かりんとう」を出品しました。その結果出品のあった73点のふるさと食品の中から優良なふるさと食品13点が選ばれ「花木立」は愛媛県知事賞に「五色かりんとう」は愛媛県町村会長賞を受賞しました。これを機会になお一層の飛躍を期待します。



電 算 機 運 用 開 始

四月二日住民票第一号発行

昨年からの準備を進めていた電子計算機業務が、四月二日から一部稼働できる運びとなりました。

これに先立ち、町民のプライバシー、基本的人権を守るため個人情報保護及び管理運営に関する条例が三月定例議会において制定されました。

四月からは、住民基本台帳に関する業務が電算化され、住民

＝風の学校生徒募集＝

新しい町創造に向けて、町の現況を知り、町の将来をどう展望して行けばいいのか。

総論から実践する町づくりを進めるため、「ひじかわ風の学校」を開校し、次の要領で募集します。ファイトのある皆さん是非申し込んで下さい。

◎募集人員
本科一期生 十名

◎資格
町内の男・女

◎入学
平成二年六月

◎応募者
風おこし運動の推進者

になろうとするもの。
自治行政を実際に学ぼうとする。

うとするもの。
「情報」について学ぼうとするもの。

・自己の職業について研鑽・技能修得したいもの。
・海外研修を希望するもの。

◎カリキュラム
全体学習と各人の個別目的に応じた個別カリキュラム編成による学習。

◎特典
予算の範囲内での給費制とする。

◎期間
一年・但し個別目的により変更する場合もある。

◎申込先
役場・風おこし対策室
五月二十五日までに申し込んでください



大野町長による住民票第1号発行

風 信

町は研修制度で意欲ある人に道を開いている。風おこし大会で発表もあったが、沖浦賢嗣氏は十五年の乗馬歴があり、肱川で馬を走らすべく、松山の乗馬クラブに入会し、専門的訓練をうけ、研さん中。奥さんも惚れなおされたであろう颯爽たる乗馬姿の、写真入り年賀状を頂戴し感服した。以前から肱川でも馬を、の話はあったが、風おこしがきっかけでこのように実践に入る人ができ、うれしく、たのしく感じている。鹿鳴園に鹿、今度は馬か、などと冗談も出るが、なんでも良いと思うことはやったらいい。新しい風土づくりも必要だ。農林業でも商業でも基本は不変だし、守り続けていかねばならぬものがある。しかし、時代は激変している。転換も、新しい道をさぐることも必要だ。

隔年ごとの町役職員の研修も、今年は何見遊山感覚でなく、町の今日の課題、風おこし、自然エネ、ダムなどを中心とした内容にしてみたい考えだ。

夢を追い
風を追い
生命の充実感を想う



(町長)

引き続いて 新しい町創造計画を推進

三月定例町議会

平成二年度の基本方針を定め、諸施策の大綱を決定する三月定例町議会は、去る三月十四日に召集され、会期を三日間と定めて、町長提出の二十四議案が委員会付託で審議の上、全議案とも原案どおり可決されました。

議案説明に先立ち、平成二年度に臨む町長の所信表明があり、昨年度に引き続いて新しい町創造計画と風おこし運動を強力に推進する考えを明らかにして町民各位の協力を呼びかけました。また、町長に対する町行政一般質問は三人の議員から六項目にわたって行われました。

町長所信表明

私は昨年第四期目の町政を担当するに当り、新しい町創造というテーマを掲げまして、考え方を申し述べ、ご理解とご協力をいただいております。

今期中の基本的な考え方に変わりはなく、現行の町創造計画を成案すべく各種事業指定を受けまして取りはかっています。

即ち、通産省の自然エネルギー可能性調査、国土庁のアザバイザー派遣事業、建設省の地域振興計画、水環境調査などであり

昨年六月にダムサイト地域調査等の申し入れを受け、調査も終了間近となっております。

建設省では結果について概ね見通しを得たもののようであり、近く正式に建設要請があるものと予想されます。

また町としては回答できる情勢ではありませんが、避けて通れない問題でありますので、鋭意地域振興策をまとめ、決断できる条件を整え住民判断を求めたいと考えております。今後いかなる困難に遭遇しようとも自治の平安と発展を守り抜く覚悟でありますので町民各位の協力をお願い申し上げます。

次にふるさと創生一億円について申し上げます。自ら考え実行するふるさと創生資金として交付された一億円の使途につきましては、かねてご理解をいただいている次第ですが、平成二年度に予算化したしまして、具体的施策を執行して参りたく提案しているところであります。

この交付金はふるさと創生のきっかけをつくらうとするものでありますから、その趣旨に添って使用すると共に他の資金も併せて投入し、効果を上げたいと考えてあります。

内容としましては、一つ、風おこし運動の一端として各地域が行う地域創生事業に二千五百万円、脇川町を対外的にPRす

る事業といたしまして五百万円、風の博物館の資料収集等三千万円、各種産業振興に七千万円、人材育成事業に二千万円、合計一億五千万円を予定しております。

産業振興につきましては、木材加工、特産、農産加工施設、水資源開発などを考えておりますが具体的計画につきましてはそれぞれ提案をして参ります。

人材育成につきましては、今年度は風の学校設立、製材・食品加工などの技術取得派遣研修、海外交流、情報機器学習などを予定しております。予算につきましては、今年度にすべてを使用するのではなく継続して使用する形になるものもあろうと思っております。

次に風おこしでございますが、今年度は議会制度創設百年の記念すべき年でありまして、わが国は民主主義が定着し、わが町には先輩の努力で和を中心とした心豊かな町風が培われてきておりますことはまことに同慶の至りであります。

しかしながら、時代の激変、外庄、農山村の現状などを思い出すとき、自ら奮起することなくしては困難を克服することはできないと考えます。

ふるさと創生一億円にしましても、風おこし交付金とも考えられる訳であり、わが町にとって風おこし運動を進めてゆくこ

とは絶対に必要であります。いまだ住民運動の形になっていないのはいい難いのでありますので強力な推進を図り、心豊かな町であると共に、活力ある町としてゆく所存であります。

諸問題取り組みに当たっての考え方の一端を申し述べますと、町は河辺川ダムをはじめ、数多くの課題を抱えております。今後町政を進めてゆくに当たって思いますが、農山村の現状はきれいごとをいってはいけません。教育施設整備計画の見直しも必要かと思っております。

特産開発センターの運営も、徐々に民間型に移行させたいと思っておりますが、いざれにしましても、産業振興のことでも、教育・福祉の問題でも建前論や理想論を交わしていても、不毛の理論になりかねません。現実を正視し現実認識の上に立った方策の具体化が必要であろうかと思っております。資料の提供、情報の交換等により、お互いの認識を深め意志疎通を図って参りたいと存じます。

経済団体との連携につきましても、従来トップの連携といった関連でのみ眺められがちでありましたが、職員間の連携、全体的な相互連携、全町的な認識を形成してゆく努力をしなければならぬと思っております。

風おこし運動のみならず全町一つ心、全町一体の心があってこそ、肱川の未来を創造できるものと思っております。

各位のご協力をお願いいたしまして所信表明いたします。

一般質問

◎新しい町創造計画について

新しい町創造について各地区においては地域創造会議で検討され、策定を進められているが各地区ごとの進捗状況をお聞かせ願いたい。

また、町の計画として桂川埋め立てを計画され、用地買収については幹旋委員を委嘱されて進められているが、その後どのように進展しているかお伺いしたい。

〔町長〕大きな目標を掲げまして現在計画作業を進めているところであります。その一つの方法として地域創造会議をつくって各地域の未来像を皆さん自身で探っていただくということとあります。各地域で二回三回実施をして参っております。岩谷地区では高齢者の広場づくりとか鉱泉の堀削、正山では轟溪谷の整備・住宅団地・イチヨウ並木、大谷地区では地区の水の問題、中央地区では花いっぱい

い運動、予子林では猿が岳・五衛門滝の整備とそれぞれ目標が浮かび上がっているようであります。

私が願っておりますのは、先程申しましたように、肱川町の新しい町創造計画をつくってゆくという、住民皆さんが自分の地域をどうしてゆかかという夢を描いていただきたいということとあります。しかし自分の役割を忘れた夢というのは空論でありますので、そのところをしっかりと考えていただきたいと思っております。五百田田を有効に使っていただきたいと思っております。

桂川埋め立てであります、新しい町創造というのは分かりますかと思っておりますが、一つの目標は形を新しく作るということ、即ち肱川はこういう地形でありますから、平らな土地をつくるということが分かっていただくとあります。桂川を埋め立て、大駄場に平地をつくり用地の拡大を図ってゆきたいと思っておりますのであります。幹旋委員をお願いいたしまして進めておりまして現在のところ予子林の用地所有者につきましては概ね了解という線に来ております。鹿野川地区の方は目下努力をさせていただいておりますので、理解が得られましたら次の交渉に入りたいと思っております。

◎ひじかわ特産開発公社の運営について

有限会社ひじかわ特産開発公社は、開業より七年を迎えようとしている。その間役員職員の献身的な努力によって年毎に順調な伸びを示していることは喜ばしい次第ではあるが、この際例えば食堂部については、業者に委託するなどして切り離し、売店・直売・加工・外商及び特産開発・販路の拡大を重点に運営するなど経営の改革を考えられてはどうか、代表取締役である町長にお伺いしたい。

〔町長〕特産開発センターは皆さんの協力で、まずまずの状況になってきております。食堂部の委託という提案でございますが、規模、施設の状況から一部を委託するということはムリだと思っておりますが、全体的に民間色を強めてゆきたいと考えているところでございます。

◎町づくりについて

町は風おこし運動の中から活力ある明日の肱川を求めて努力されているが、若者が定住しない現状では農業はもとより、あらゆる産業、企業にとっても労働力の不足がおきている。

この現実をみると、肱川町の将来に不安を感じてならない。

肱川が生き残るためには思い切った構想を考えなくてはならないと思うが、この点町長のお考えを伺いたい。

〔町長〕私もこのことを一番心配しているのではありません。しかしながらこの問題は一人肱川だけの問題でなくて全国の農山村の問題でありまして、ということは国の政治・政策・構造上の問題と考えざるを得ないのであります。しかし、いかなる状況の中にもありまして、自ら発奮し、自ら立ち向かってゆく気迫がなければ何もできないのでありますので、風おこし運動を進め、従来の考えから抜け出して、新しい町創造という目標を掲げているのであります。

将来展望を考えますときに、私たちが負わされている河辺川ダム問題、このマイナスの課題をプラスに転換することはできないか、こういうことも大切な問題であります。

世の中の変化の中で山村がどのようになっているのではありませんが、逆に世の中の変化でまた違った時代が来るのではないかと考えます。高速道の問題、集中過密の弊害、いろんなことによつて、同じ状況というのは何時までもは続かないと思っておりますので、希望を捨てることなく努力をして参らなければならぬと思っております。

◎職員の配置について

職員はそれぞれの能力を持ち個性を持っていることは当然であるが、一方また各課どこでも活躍できる職員の指導と要請は人事管理上大切な問題である。

この点日頃よりどのようなことをされているか。また、来るべき人事についてはどのような方針で配置が行われるのか伺いたい。

〔町長〕職員の配置は適材適所ということがよく言われますが自治行政は非常に窓口が広いのでありますから幅広い知識をもってほしいと思っております。組織には組織の研修があり、日常の中でも研修をして参るのですが、社会人としての資質を高め、職業人としての能力を高め、能力を発揮してゆくのにも、根本は個人個人の意欲、向上心によるのでありますから各位におかれましては激励をさせていただきたいと思っております。

人事は常に公平な人事を心掛けていく積もりであります、思っている積もりであります、思っています。私は人事は声の声を思っています。命を持ち、精励をしてほしいと思っております。

◎利子補給について

農業所得の向上をめざして多額の資金を借り入れている農家の中には、利払いが非常な重荷となっているものが少なくない。従来も町は利子補給をしているが、農家の負担を少しでも軽減するために利子補給を引き上げてはどうかと思うが、町長のお考えをお伺いしたい。

〔町長〕先の会合でも資料を示しましたが大変大きな額となっておりますが、最近投資も慎重に考えられるようになっております。

従前のものについて遡ってといふことになりまして、商工業との関連もありますし、現在のところ引き上げを考えておりません。

◎河辺川ダム問題について

河辺川ダム問題については、先に三点の実施調査を受け入れることとし、現在調査が進められているが、間もなく次の段階の申し入れがなされるのではないかと推測される。次の申し入れの内容はどのようなものが考えられるか。また、その対応の仕方を町長はどのように考えられているかお伺いしたい。

〔町長〕二年度における内容はダムサイトの詳細調査が出てくるのではないかと、又地上り調査



河辺川ダムの建設が検討されている京造附近

は継続されるであろう。地域振興調査は今年度では完了できませんで引き続きですし、生活再建実態調査もまた地域が取り組むに至っておりませんのでこれも継続することになります。建設者としては、建設可能として近く建設要請がなされるのではないかと予想をしております。建設要請が出て参りますとそれ以後は建設省独自の動きが出てくると思われまます。そういうことで今までは違つた形で出てくると思っております。私たちは受けて立たなければならぬ立場でありますから、従来から言っておりますように私たちは、町としての判断ができる状態の研究をしておかなければならないと思っております。現在はイエスとかノーとかをいふ状況にはない訳であります。

議案の審議

◎選挙管理委員及び同補充員の選挙について

任期満了に伴って、後任の選挙管理委員及び同補充員の選挙を行った。

◎平成元年度肱川町一般会計補正予算(第六号)の専決処分承認について

衆議院議員総選挙の経費その他で二百万円の補正専決が承認された。

◎肱川町電子計算組織の個人情報保護及び管理運営に関する条例の制定について

電子計算組織の導入に伴い個人情報保護の保護及び管理について必要な事項が定められた。

◎肱川町税条例の一部改正について

特別土地保有税の納税義務者等の範囲が拡大された。

◎肱川町国民健康保険税条例の一部改正について

電子計算組織の個人情報開示手数料その他の手数料各二百円が追加された。

◎町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

近隣町村との比較その他経済状況の変化を勘案し、又特別職報酬等審議会に諮り、答申を得たので次のとおり報酬が改正された。(以下同じ)

- ・議長 一七二、〇〇〇円
- ・副議長 一三五、〇〇〇円
- ・議員 一一八、〇〇〇円
- ・六月分手当 一・五ヶ月

◎肱川町教育委員会委員の報酬及び費用弁償条例の一部改正について

- ・委員長 二二四、五〇〇円
- ・委員 一八八、七〇〇円

◎報酬及び費用弁償額並びに支給方法に関する条例の一部改正について

・農業委員会委員その他の委員の報酬が、約三・一%引き上げられた。

◎肱川町投票管理者等の報酬支給条例の一部改正について

選挙費用に関する法律の改正によって次のように改正された。

- ・投票管理者等七、五〇〇円
- ・立会人 六、一〇〇円

◎肱川町証人等に対する実費弁償に関する条例の一部改正について

- ・証人等に支給される実費弁償額が六、一四〇円に改定された。

◎特別職の給与条例改正

- ・町長 五七九、〇〇〇円
- ・助役 五〇〇、〇〇〇円
- ・収入役 四六六、〇〇〇円



庁舎3階に設置された電算機

◎教育長の給与条例改正

教育長の給与が四五四、〇〇〇円に改定された。

◎消防団員の給与条例改正

消防団長他の報酬が改正された。

◎肱川町道路線の認定について

町道、農道及び林道の新設改良により、路線の追加・変更が認定された。

◎土地改良事業の施行について

団体営農道整備事業の施行が決定された。

◎平成元年度肱川町各会計の補正予算

平成元年度の各会計予算の最終的な補正が行われた。

◎平成二年度の各会計予算

平成二年度の肱川町一般会計をはじめ、四特別会計が決定された。

◎平成二年度の各会計予算

新年度予算の詳細は6・7ページをご覧ください。

当初予算総額

6,148万円

億3,100万円スタート～

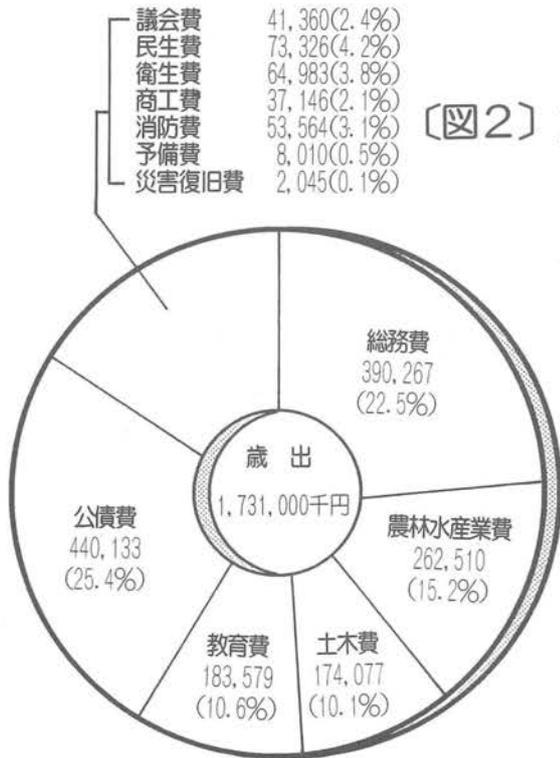
平成二年度肱川町当初予算が、町議会三月定例会で原案通り可決されました。

一般会計予算は、十七億三千百万円で前年度の当初予算と比べ三千万円(二・七%)の減となっています。

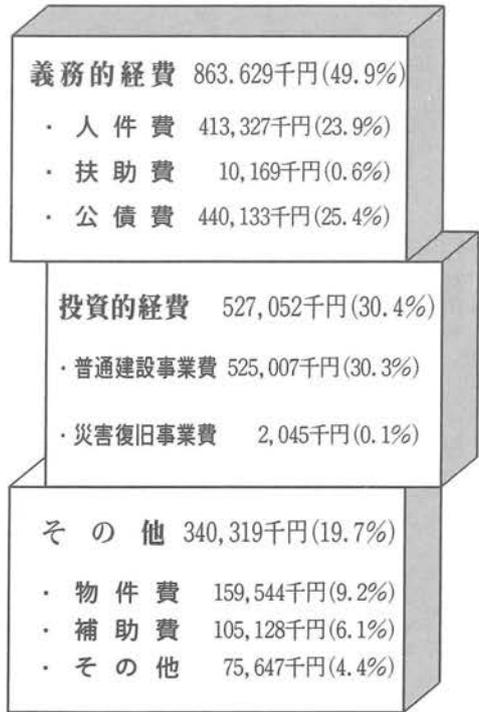
また国民健康保険他三つの特別会計の総額は、前年度当初予算に比べ、四千六百五十五万円増の五億三千四十八万円となっています。

町財政は依然厳しいものとなっていますが、建設事業の促進を図りながら、ふるさと創生事業・風おこし運動事業の推進・良質堆肥センター建設による有機農業の推進・さらに教育・産業・福祉基金の充実をはかり町の活性化を期しております。

〔図2〕歳出



〔図3〕一般会計予算性質区分



一般会計予算

平成元年度の予算については、投資的経費において、重点事業を中心とした予算とし、国・県の補助事業採択に合わせ順次肉付けを行っていく事としています。

〔歳入〕

歳出の裏づけとなる収入は図(一)に表わしています。これを見ますと国から交付される地方交付税十億一千五百万円(五八・六%)地方債一億四千万円(八・一%)国庫支出金一千百万円(〇・九%)県支出金一億七千三百万円(一〇・〇%)等が主なもので

す。また町内で集められる税金は一億一千九百万円(六・九%)となりこれを一人当りで見ると三万三千円となります。(表3)

このように自主財源が少なく財源の大部分を国や県に依存している弱い体質となっています。このため常に国・県等の動向を的確にとらえ、補助金等の確保を行い健全な財政運営を図る必要があります。

〔歳出〕

一般会計予算歳出(十七億三千万円)を構成比で表したのが図(二)の円グラフです。町の基盤である農林業の新興に二億六千二百万円(一五・二%)また、教育費が一億八千三百万円(一〇・六%)公債費が四億四千万円(二五・四%)となっています。

歳出を性質別に分類したのが図(三)です。これによりますと普通建設事業が五億二千五百万円で歳出予算の三〇・三%を占めています。

平成二年度の主な予算は表(一)に表わしていますが、ふるさと創生事業費及び風おこし運動費に一億九千九百万円、畜産業費に三千二百六十万円、道路新設改良費に九千六百五十五万円を計上し、限りある財源の中で住みよい町づくりのために効率的な配分を図った予算としています。

平成2年度

22億
~一般会計17

〔表1〕 主な事業と予算

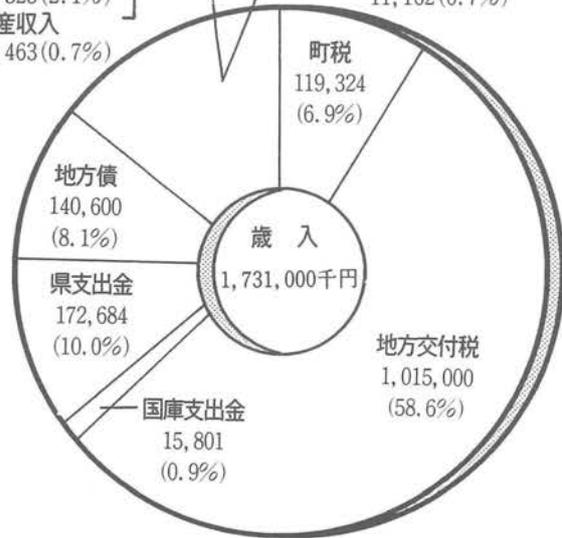
(単位:千円)

部門	主な事業	予算額	部門	主な事業	予算額
総務	ふるさと創生事業費	100,000	林業	林業新興費	56,474
	財産管理費	46,332		間伐促進強化対策	3,267
	風おこし運動費	1,996		林道整備事業費	7,680
業務費	広報費	2,412	商業	地域改善対策事業費	24,000
	電算導入費	11,584		商工新興費	2,556
費	企画費	3,620	工業	観光費	22,301
	ダム対策費	11,939		交流促進費	3,485
民生費	老人福祉費	18,994	土木	道路維持費	12,771
	地域改善対策費	2,915		がけくずれ防災対策事業費	29,000
衛生費	児童措置費	5,380	土木	道路新設改良費	91,649
	予防費	10,508		河川管理費	2,100
衛生費	清掃費	10,491	消防	非常備消防費	16,102
	歯科診療費	1,406		常備消防費	36,626
農業費	葬祭施設費	13,767	教育	小学校費	19,152
	農業新興費	10,730		中学校費	10,998
農業費	特産開発推進事業費	2,944	教育	幼稚園費	21,765
	畜産業費	32,623			

〔図1〕 歳入

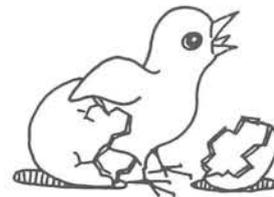
交通安全対策特別交付金 500 (0.0%)
 寄附金 322 (0.0%)
 繰入金 100,000 (5.8%)
 繰越金 50,000 (2.9%)
 諸収入 11,162 (0.7%)

地方譲与税 30,500 (1.8%)
 利子割交付金 1,000 (0.1%)
 自動車取得税交付金 18,000 (1.0%)
 分担金負担金 8,319 (0.5%)
 使用料手数料 36,325 (2.1%)
 財産収入 11,463 (0.7%)



〔表2〕 特別会計予算

国民健康保険特別会計	247,100千円
簡易水道特別会計	33,300千円
住宅新築資金等貸付特別会計	3,280千円
老人保健特別会計	246,800千円
計	530,480千円



〔表3〕 町民1人当り

~ 一般会計 ~

{ 2. 3. 31現在 }

3,601人

- ・ 町 税 33,136円
- ・ 歳 出 額 480,699円

町職員三十人異動

四月から町行政組織の一部の変更と職員の異動を四月一日付で次のとおり行いました。

今回の異動は、一部の係の変更及び二名の退職に伴い三十名が異動し、新しく職員四名を採用しました。

新しい機構、職員配置図は左のとおりです。

— (一) 内旧任、○印昇任—
 ▽町民課長兼保健センター所長 佐久保恵一(議会事務局長) ▽産業課長 宮田 章(町民課長兼保健センター所長) ▽議事事務局局長 兵頭 茂(特産開発

センター所長) ▽風おこし対策室長補佐兼企画開発係長 片山政治(総務課長補佐兼総務係長) ▽総務課長補佐兼総務係長 二葉 廣和(建設課長補佐兼監理係長) ▽建設課長補佐兼監理係長 和気 武士(税務課長補佐兼調査登記係長) ▽産業課長補佐兼商工観光係長 都谷 征也(町民課長補佐兼保健衛生係長) ▽税務課長補佐兼税務係長 飛野 弘幸(税務課税務係長) ▽町民課長補佐兼福祉年金係長 今宮 雅司(風おこし対策室交流係長) ▽税務課調査登記係長

中畦 重光(建設課水道係長) ▽総務課広報統計係長 徳本 英信(建設課建設係長) ▽風おこし対策室情報宣伝係長 桜田 和明(風おこし対策室企画係長) ▽建設課建設係長 松本 善一(農業委員会事務局農地主事) ▽建設課水道係長 沖田 寛(建設課水道係) ▽町民課国保係長 亀田 隆代(町民課町民福祉係) ▽建設課建設係 東 真理(税務課税務係) ▽税務課税務係 金野たみ子(出納室) ▽産業課特産開発専門員 森 吉満(社会教育課社会教育主事) ▽総務課総務係 出水 文子 ▽町民課保健衛生係 松田 龍明(税務課

税務係) ▽総務課電算係 岡村 清利(建設課建設係) ▽産業課農林振興係 和気 栄一(総務課電算担当) ▽出納室 池田 悦子(総務課総務係) ▽風おこし対策室企画開発係 松本 隆寿(産業課農林振興係) ▽税務課税務係 中野富士雄(町民課保健衛生係)

教育委員会事務局
 ▽社会教育主事 石家 清
 (公民館)(新採) ▽公民館 大井 章裕 ▽正山幼稚園教諭 上野 順子(中野幼稚園) ▽中野幼稚園助教諭 曾根佐和子(正山幼稚園)

農業委員会事務局
 ▽農業委員会農地主事 畦崎 和男(産業課商工観光係)

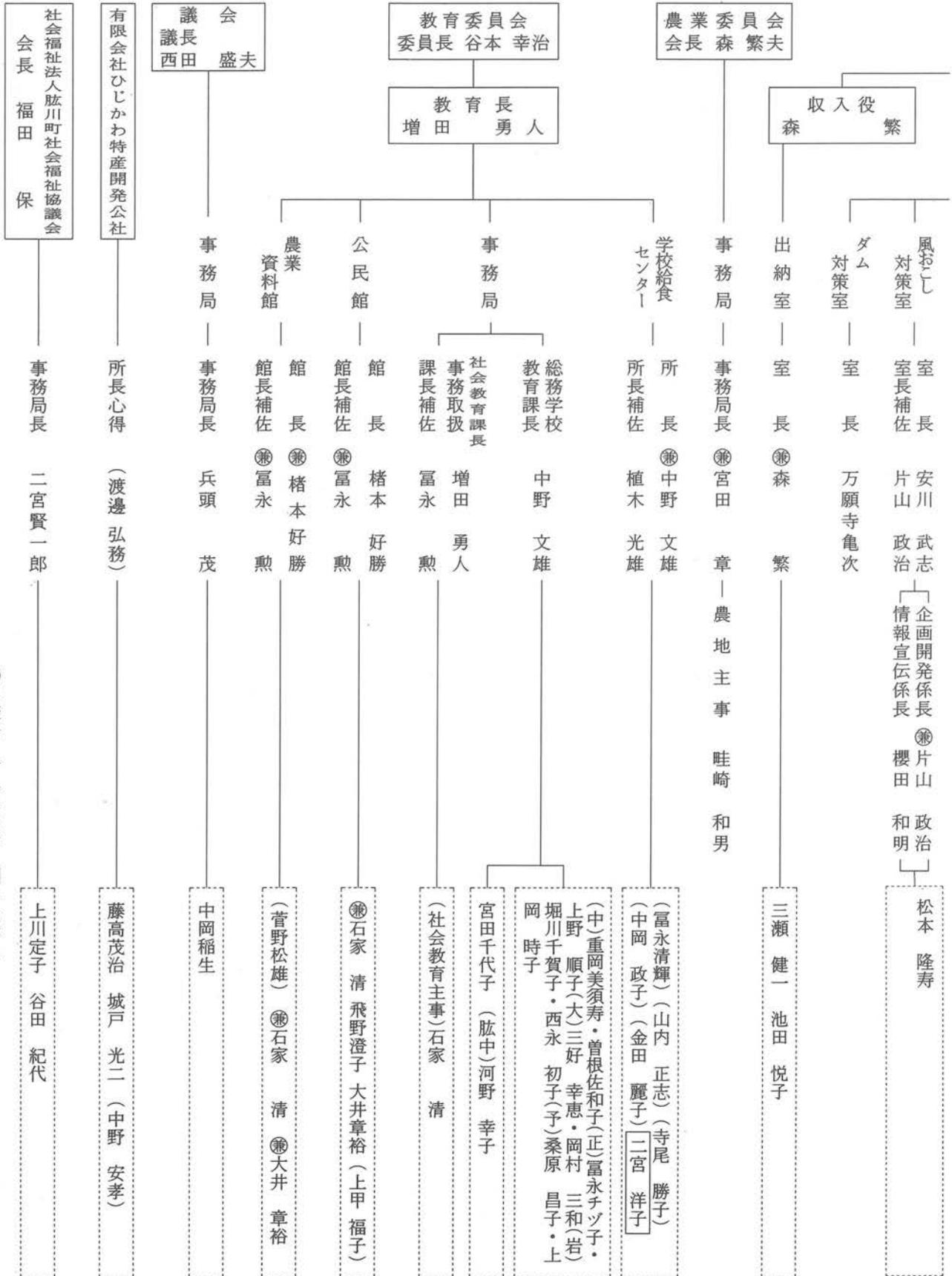
退職(三月三十一日付)
 ▽町民課国保年金係長 山田美智子 ▽公民館管理人 上甲 福子

置 図

平成2年4月1日現在



肱川町職員配



兼は兼任・()は嘱託・□は県職員

丸山公園を肱川町に寄贈

シャクナゲの里として有名な丸山公園を園主の富永さんより寄贈していただくことになりました。

寄贈される丸山公園は、面積一ヘクタールで園内には、シャクナゲ三千本をはじめツツジ、エビネ、ヤマブキ、杉、桜などが植栽されています。

シャクナゲは標高千メートル以上に育つ高山植物で同百メートルの公園では育たないのが常識とされていましたが、そのハン

いで今年初めから町職員に指導をしていただいています。

肱川町は富永さんが七十年前から一生のライフワークとして育てられてきた公園を町民だけでなく、県民の財産として守り育てていくことで丸山公園や鹿鳴園、鹿野川園地と合わせ花の観光名所が誕生することとなりました。

なお丸山公園は昭和六十三年建設省の「手づくり郷土賞」を受賞。毎年四月から五月にかけて花が次々と咲き誇り、県内外の観光客約五万人の目を楽しませています。

これまでの苦労について富永さんは、周囲の森林が保護されないとシャクナゲは死んでしまう。科学の力では説明できないものと、私もシャクナゲになったつもりで育ててきたと振り返りさらに将来も高山の環境を守り住民に花見を楽しんでもらいたいと要望され、シャクナゲの育成管理法につ



富永氏と杉木立の中に植栽されているシャクナゲ

農作業賃金決まる

農業委員会三月定例会において、平成二年度の農作業賃金の目安を次のとおり決定しました。

なお、この賃金はあくまでも目安ですので、地区の慣習や本人の能力により合わない場合は、お互いの話し合いで賃金を決定して下さい。

また標準小作料は小作料協議会の意見を聞いて元年度から別表のとおり決められています。

標準小作料 平成元年12月15日改定(10a当り：円)

農地区分	小作料の標準額	備考
上	25,000円	生産量(水稲480kg)は場整備完了又は、これに準ずるところで農業用道一、コンバイン利用可能な農地
田中	15,000円	生産量(水稲420kg)は、上田より農機等のやぶ劣るところで耕運機、バインダー利用可能な農地
下	4,000円	生産量(水稲340kg)は、上田、中田以外るところで農機化作業が困難な農地畑
畑		畑については、主たる作物の選定がむずかしく、標準小作料の設定はしない。

注意：金額は、作付面積当りですので畦の部分は除きます。

農作業賃金目安表

項	目	区分	賃金
水	春田おこし(10a当り)	山田	10,000円
		沖田	8,000円
田作業	しろかき(〃)		8,000円
	すきかき(〃)		12,000円
	田植機(〃)		6,500円
			8,000円
	稲刈り(バインダー)(〃)		9,000円
一般農作業(1日当り)		男	6,000円
		女	4,000円

平成2年度肱川水防演習の開催について

皆様御承知のように、肱川はその源を東宇和郡宇和町正信(標高四六〇m)に発し途中、黒瀬川・舟戸川・河辺川・小田川・矢落川などの四七五もの支川を集め、伊予灘へ注ぐ、幹線流路延長は一〇三km、流域面積は一市一町二村にまたがる一二一〇kmの県内第一の一級河川です。

高知県などとともに雨の多い地域で、特に梅雨や台風等による被害を毎年のように被っております。建設省では五月を「水防月間」と

定め、洪水による被害を少なくするための各種の事業や行事を展開しております。

その一環として、広く皆様に水防活動の重要性を再認識して頂くために、全国で水防演習を実施しております。

肱川においても平成二年五月十五日(火)午前9時~12時まで、場所は大洲市若宮(肱川五郎橋上流右岸河川敷)で実施致しますので、是非御覧下さい。

No. わが家のアイドル (75)



お父さん 良二さん(33歳)
お母さん 佳代さん(33歳)

松岡佐也加ちゃん(中野)
昭和63年3月11日生
2歳

小さい頃のケンカは、大きくなると強い愛情に変わるもの。大いにケンカして仲の良い兄弟になろうね。



お父さん 則さん(37歳)
お母さん ひろ子さん(37歳)

上田 瑛二くん(上森山)
昭和63年3月18日生
2歳

兄ちゃんに負けるもんか! 三月十八日で二歳になった瑛二くん。お兄ちゃんに鍛えられたせいとか、顔付きがだんだんと険しくなってきました。

こんにちは、「佐也加」です。毎日、踊り・歌・いろんな事を教えてくれる、お姉ちゃんと一緒に、遊ぶのが大好きです。負けず嫌いで、泣きむしだけど、元気で素直な子に、育ってほしいと思います。

活 動 目 標	事 業 内 容
1. 地域福祉・在宅保健福祉の推進	1.家庭奉仕員活動の充実 2.給食サービスの実施 3.ベット・車イス・エアーマット等の貸出 4.愛のベル設置 5.老人の社会参加の推進 6.独居・ねたきり老人の援助 7.身体障害者更生会の育成と事業援助
2. 専門部会活動の推進	1.ボランティア部会活動の推進 2.高齢者福祉部会活動の推進 3.青少年児童部会活動の推進
3. 低所得世帯の自立更生の援助	1.援護資金の貸付と更生指導 (1)世帯更生資金 (2)小口貸付資金 2.借入金の償還指導
4. 青少年児童福祉活動の強化推進	1.青少年の健全育成運動推進 2.子供の事故・非行防止活動 3.子供の社会参加の促進 4.児童図書への援助 5.少年ボランティア活動への援助
5. ボランティア活動の推進	1.環境美化運動推進のための奉仕活動援助 2.在宅者の友愛訪問・愛の一声運動の推進 3.ボランティア研修会参加
6. 心配ごと相談事業の推進	1.心配ごと相談所の充実 2.相談員の研修 3.自宅相談の推進
7. 共同募金・歳末たすけあい募金運動への協力強化	1.共同募金運動の推進 2.歳末たすけあい運動の推進
8. 福祉関係団体との連携強化	1.福祉関係団体との連携を密にし、福祉の向上に努める
9. 広報活動	1.社会福祉協議会の趣旨普及のため、広報活動 (毎月肱川町広報に記載)

ごあいさつ

社会福祉協議会長

福田 保



申し上げます。心からお礼

町内の皆さん、日頃は社会福祉の増進のため、色々のご協力を戴

ますます深刻化してゆく高齢化社会に向かって、皆様方の一層のご援助をお願いするものであります。

我が国は自由主義の国であり政治も経済も競争から成り立っております。与党と野党が活発な論戦を行い、その是非を国民に問いながら政治を行って参りました。その結果、我々国民は戦後安定した平和と繁栄を享受することが出来ました。また経済界は、各企業間の激

しい競争の末、気が付いたら世界のトップクラスの技術工業国となり経済大国と言われるようになりました。

このように、日本は競争社会であります。それが良かったことは、競争をとり入れなかったソ連や中国、東欧の現状をみると、日本の選択が正しかったとの思いは皆さんも同じだと考えます。しかし、競争の原理にそぐわないものがあります、それは社

会福祉です。病気がちで仕事の出来ない人、心身障害者、高齢者、子供、これ等の人々は競争に打ち勝つことが出来ません。

経済大国も結構ですが、弱い立場の人々を大切に、いたわり合って共に生きる、このよきな社会であってこそ、近代国家、先進国と言えるのです。皆様方からの、社会福祉協議会への御支援をお待ちしております。

平成二年度事業計画決まる

◇社会福祉協議会◇

三月三十日に、理事会及び評議員会を開催し、新年度の事業計画等を決定しました。

地域福祉、在宅保健福祉事業を基調として、活動を推進して行きます。

○重点活動目標は、次の表のとおりです。

きゅうり部会総会を開催

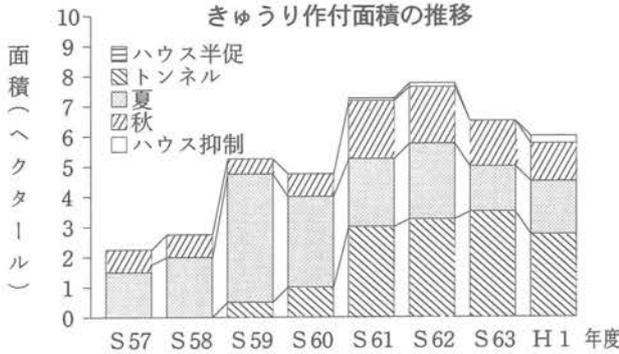
去る、二月二十三日農林会館二階会議室において、平成元年度きゅうり部会総会が開催された。

総会に先立って行われた栽培講演会では、ときわ種苗の鈴木茂先生より「ブルームレス台木」使用に対する栽培上の注意事項について講演を受けた。

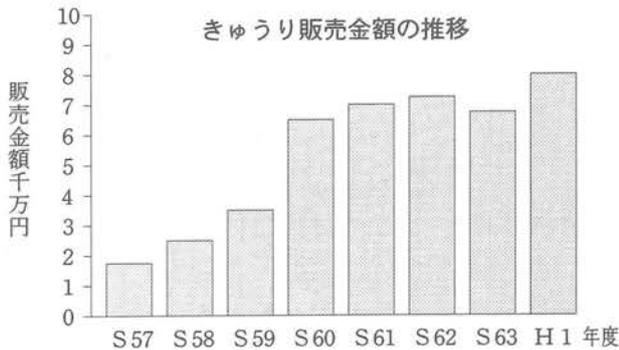
引き続き行われた総会では、平成元年度事業報告、平成元年度事業計画、役員改選等について協議された。

平成元年度は「ブルームレス台木」(ピカピカきゅうり)の導入という一大転期の年であったが、当初の心配をよそに、生産者個々の基本管理の徹底の中で、販売金額八十八万円(前年対比一一〇%)、秀品率四六%(同比一〇%アップ)、収量約四〇〇kgアップと、過去最高の成績となった。しかし、面積、生産者戸数共に前年を下回り、部会として最重要課題となっている。平成二年度においては、高品質(ピカピカきゅうり)に対する市場要望の中で、七月中旬までは全面(ブルームレス台木)の導入を計る

きゅうり作付面積の推移



きゅうり販売金額の推移



こととなった。また、ここ数年面積が伸び悩んでいる中で、新規生産者の勧誘、休作者への働きかけ、個々の作付拡大、施設の導入等を通じ、本年目標八haを達成し、悲願となっている「一〇ha、一億円」という産地の早期実現に向けて事業を推進することとなった。なお宇和川地区にも冷蔵庫が設置の運びとなり、一応町内全域で鮮度保持出荷体制が整うこととなっている。役員改選では、部会長に兵頭達行氏が再任され、新しく副部会長として山内吉晴氏(中央支

部長)が選任された。以下各支部長として、石田利寿氏(宇和川支部)、和氣昌介氏(岩谷支部)、岡本完一郎氏(大谷支部)、藤田幸男氏(子子林支部)が選任された。

また昨年より優秀農家の表彰を行っているが、本年は次の方々が表彰された。(敬称略)

肱川町長賞	森 繁夫
農協組合長賞	中央支部
神戸中央青果賞	松本金次郎
部会長賞	岩野 清信
努力賞	山内 吉晴
〃	堀井 嘉弘
〃	谷田 通泰
〃	西山 輝重



農協共済契約者の皆さんに

農協共済にご契約を賜っております共済掛金につきましては、貴殿名の貯金口座より自動引落としをさせていただきます。引落日の変更

したがいまして今回共済掛金引落日を若干早めさせていただきますことにより、不幸にして大切な契約が失効となることのないよう努めてまいりますので、何卒事情をご理解の上ご協力賜りますようお願い申し上げます。

①引落日の変更

年 払
契約応当日の翌月の七日
月 払

②変更実施時期

年 払
掛金該当月の翌月の一日
月 払

③六月分の引落日

年 払契約
平成二年六月度掛金分から
月 払契約
平成二年七月七日
平成二年七月一日

！ふれ愛、わけ愛、たすけ愛

大きな輪になれ

農協共済！



EXPO'90

花の万博

京都観光と国際花と緑の博覧会〔募集中〕

21世紀へのメッセージは
鶴見緑地から発信。

人と自然がともに息づく
山・野原・街の3つのエリア。

【募集要領】

◎旅行日	平成2年9月4日(火)～9月6日(木)	
◎行程	2泊3日	
◎募集人員	45名(最小催行人員35名)	
◎旅行代金	44,000円	〔旅行代金に含まれるもの〕
◎申込金	5,000円	全行程中の交通費、食事代、宿泊費、入場料、観光料、主催旅行保険1,000万保、写真代、飲物少々、消費税等、諸税を含みます。
◎添乗員同行	(旅行代金に充当)	
◎申込締切日	8月18日(土)	

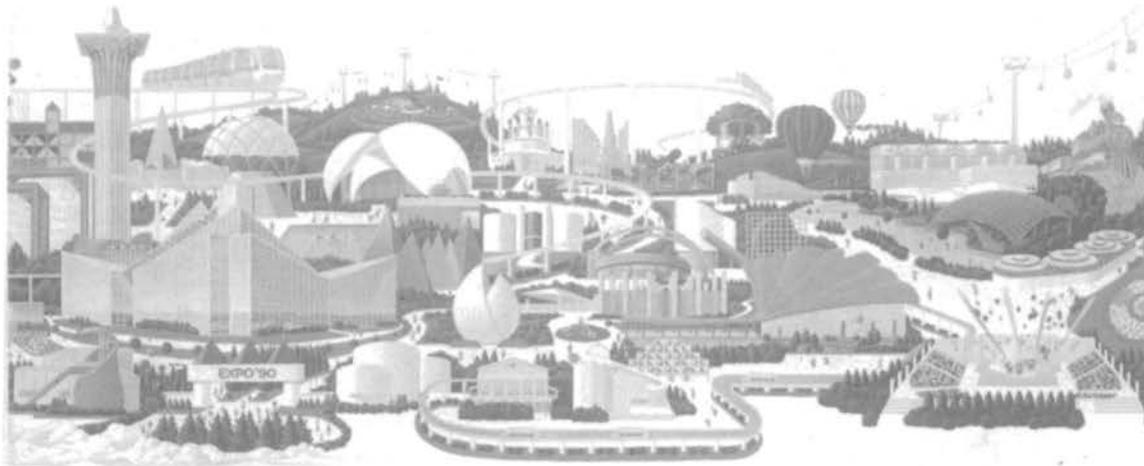
花と緑の博覧会と京都観光

日次	期日(曜)	行	程	宿泊
第一日	9 / 4 (火)		19:20 22:40 (ダイヤモンド ドフェリー) 21:40 肱川農協 ——— 松山観光港	
第二日	9 / 5 (水)	7:20 11:00 13:30 14:50 16:30 六甲(大原三千院) 京都(天竜寺庭園) 嵐山 金閣寺 清水寺 雄琴 アイランド (食) 7:00 9:30 12:00 (食) 14:00 15:20 18:00		△
第三日	9 / 6 (木)	7:40 13:30 [瀬戸大橋] 18:20 雄琴 ——— 花と緑の博覧会 ——— 姫路 ——— 与島 ——— 坂出 ——— 土居 ——— 小松 ——— 肱川農協 9:20(自由食) 15:20 17:40 (食) 19:10 20:30 22:50		

〔コース・時間帯は変わることがあります。〕
 〔利用ホテル名〕琵琶湖グランドホテル
 0775-79-2111
 ご希望の方は本所又は各支所へ申込み下さい。

企画・後援
 肱川農協
 TEL34-2321

旅行主催
 (運輸大臣登録一般旅行業第793号)
 愛媛県農協観光



木材市況

優良材生産は直材づくりから!

椎茸市況

椎茸生産はクヌギ林造成から!

第537回 平成2年3月27日
 脳川土場木材相場表
 県森連市より (単位才当り:円)

長さ	未口径	スギ		ヒノキ		マツ	その他
		チョク	マガリ	チョク	マガリ	チョク	
4m	7cm下	264	192	355	192		松バルブ 7cm上 長さ1.7~1.9m 25円
	8~10cm上	336	222	511	286		
	11~12cm上	67	-	110	-	18cm上 56	
	13cm上	68	-	172	-	24cm上 67	
3m	7cm下	153	119	167	119		雑バルブ 7cm上 長さ2m 43円
	8cm上	196	190	263	223		
	11cm上	34	-	60	-	18cm上 60	
	13cm上(元)	77	-	158	-	24cm上 67	
2m	7cm下	-	-	-	-		バリ材 材(松・杉・桧) 末口3~6cm 長さ2m 72円
	8cm上	14	-	14	-		
	16cm上	28	-	56	-	松ハリ材 16~22cm 3m 74円	
	30cm上	49	-	109	-	4m 84円	
6m	13cm上(元)	83	-	298	-		
	13cm上(元)	109	-	384	-		
特選	13cm上(元)	116	-	273	-		
	13cm上(元)	273	-	1,285	-		

製造品市況を反映して杉、檜、一般材は全般に弱含みで推移。優良材は好調

脳川町森林組合乾椎茸相場表

1. 市売日…平成2年3月27日
 1. 販売数量…147ケース 2,402kg
 1. 平均単価 3,660円
 1. 銘柄別価格

銘柄	単価	比率	銘柄	単価	比率
大厚	-	-	特大大葉	4,980	1
中厚	6,970	3	特用中葉	4,850	1
小厚	5,410	6	特用小葉	4,470	6
大ウス	-	-	大バレ	3,040	4
中ウス	6,590	1	中バレ	3,390	7
中小ウス	5,120	1	小バレ	3,130	10
小ウス	4,600	14	変形	3,930	12
ジャミウス	3,120	10	色落ウス	3,510	1
冬大	-	-	色悪	2,480	21
冬中	-	-	黒子	870	2
冬小	-	-	その他	-	-

1. 概要 全般に買気活発上げ相場で推移した。(厚物500円、薄物300円)
 今年の春子生産量は昨年度対比60%~70%の作柄です。全国的に不作感強く、依然この相場は続くものと思われる。

大切な森林

日本では、昔から学問・教育が大事にされ、とくに明治維新後は欧米の進んだ科学技術をとり入れ、産業をさかんにすることに努めたことが、今日の社会を築く基礎になったと考えられますが、それをなしたげた国民が育った背景に自然の大きな恵みがあることを忘れてはなりません。

日本は、険しい山の多い島国ではあります。が、気候には大変恵まれています。人々は稲を作り、どこにでも生えていた木を切って、いろいろな道具や建物を作ることができました。日本には、世界でも珍しいほど使いやすく、しかも丈夫な木が多かったからで、そのことが特有な文化の育つ背景のひとつとなりました。

世界には森林のほとんどない国も少なくありません。古代文明の栄えたエジプトやメソポタミアは森林を失ったために亡びたといわれています。今、アラブのある国では、莫大なお金をかけて木を植え、育てようとしています。また、世界文化の中心といわれる西ヨーロッパでは、一度失いかけた森林を回復させましたが、今また都市や工場を造ることによって森林を失うことは、人間が生きていくうえでなくてはならない何かを失うことになるのだという考えから、なんとかして森林を残し、あるいは新たに造る努力が続けられています。

このように、ひとつの国の文化の質に影響し、あるいは国が栄えたり亡びたりすることにまで関係があるといわれ、人々が求めてやまない緑の宝庫『森林』とは、いったいどのようなもので、私達の生活にどのようなかわりを持つものなのかをよく理解して、間違いない方法で森林を人々の生活に役立てていくことが重要ではないでしょうか。

さて、この脳川町に来てから二年がたちましたが、今度、大洲の事務所へ引き上げることになりました。この間、林業関係の皆様には大変お世話になり、また、いろいろと教えていただき本当にありがとうございました。何も残すことができなかった私ですが、引き続き脳川町を担当しますので、今後とも御指導、御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、後任は、大洲林業課から渡邊技師が参り、当町を担当いたしますので、よろしくお願いたします。

◎新任のあいさつ

みんさんこんにちは。
 今度、加藤技師の後任として、脳川町の林業の助っ人として、森林組合へ駐在することになりました渡邊です。

たよりにならない助っ人で、私の方が教えられ、助けられることが多いと思いますが、気軽に声をかけてやって下さい。どうかよろしくお願いたします。



・生年月日 昭和40年9月27日
 ・身長 一七二cm
 ・体重 不明……

今月の農作業

野菜

水稲

夏秋きゅうり

①病害虫防除

ブルームレス台木は、うどんこ病に弱く、高温期に草勢が低下すると発生を助長し、防除が困難となるので初期防除に努める。特に活着後(定植一週間～三週間)のミルカーブ液剤による土壌かん注を必ず実施する。使用濃度は百倍で、一株あたり四十～八十ミリリットルを株元にかん注する。

また台木であるかぼちやの葉は、うどんこ病の発生源となるので、健全なものでも本葉十枚頃には手でかき取る。

このほか生育初期の低温期には、斑点細菌病が多発するのでビスダイセン水和剤などで早期防除に努める。

②トンネル管理

トンネル期間は二十日程度とし、日中の温度管理は、生育適温の二十七～三十℃を目標に、風向きを考慮し換気を調節する。

晴天が続く場合、適宜かん水を実施するが、一度に多量のかん水を行うと、地温を下げるので、少量ずつこまめなかん水を行い地温を維持する。

一、水稲育苗の準備

水稲の播種(稚苗移植)は、田植予定日の二十日前頃に行うので準備をはじめよう。

最近では、育苗の馴れもあって基本的な技術の励行がおろそかになっていきます。床土の選択・育苗箱の消毒を適切に行い、種子は良く充実した系統の正しいものを確保しましょう。特に、

床土は山土などで保水力・通気性・吸肥力があり粘性が適度で、酸土(PH)が四・〇～五・〇の範囲のものを使用しましょう。

また、自然土のかわりに肥料やPHを調整した粒状培土や人工培地を使用する場合には、その性質を十分把握し、消毒済であっても播種後には殺菌剤の散布を行います。

二、種子消毒

箱育苗になってから、ばか苗病やもみ枯細菌病の発生が多くなっています。これらは種子伝染が主体であるから、水稲栽培指針にもとづき、種子消毒を適切に行って下さい。

果樹の管理

①ゆずのソーカ病防除

ゆずの秀品率(青果用)を低下させている原因の一つにソーカ病があげられます。病原菌は枝や葉の病斑内で越冬し、四月中旬下旬から伸び始めた新梢に感染するため、葉の軟弱なこの時期は発病が多くなる。また例年多発する園や、昨年発病の多かった園等を含め、徹底防除を怠らないようにし、ソーカ病の被害果をなくする。防除の第一回目は新梢が一穂位伸びた時(四月中・下旬)にデラン水和剤の一、〇〇〇倍を散布する。

②くりのクリタマバチの防除

芽の組織中で若令幼虫で越冬し、四月下旬には寄生に虫えいを形成する。六月中下旬頃に成虫が現われ、その年に伸びた枝の芽に産卵する。(図1)四月中旬頃の薬剤防除もあるが、基本的には耕種防除の整枝、せんと施肥の適正化による経済的防除が大切です。

図1 クリタマバチの生活史



畜産

〇飼料用トウモロコシの種まきと除草剤の散布

品種の選定に当たっては、表に示す奨励品種一覧表を参考に

して、利用目的や栽培時期に適したものを選ぶ。

なお、早まきのトウモロコシには、雑草対策として除草剤を使用する。散布時期は、種まき直後から発芽までの五日間ぐらいが原則で、イネ科雑草にはアラクロール剤(ラッソ乳剤)を二〇〇～三〇〇c.c、広葉雑草には、アトラジン剤(ゲザプリム水和剤など)を一〇アール当たり一〇〇～二〇〇g散布する。

〇運動と日光浴

繁殖牛の運動による生産への効果は、①骨格、筋肉の発達と体の鍛練、②自然環境への馴致、③体の諸器官の活動を整える、④ストレスの解消などがある。

また、日光浴を行うことにより、①紫外線によりビタミンDの生成とカルシウムの吸収、沈着、②血管の拡張・増血作用・抵抗力増進などの効果がある。天気の良い日には、少しでも外に出して、運動や日光浴をさせる。

愛媛県奨励品種一覧

流通名(商品名)	相対熟度
サイレージコンNS-68	110日
ロイヤルデントTX330	110日
パイオニアデントP3424	110日
サイレージコンNE-75A	120日
ゴールドデントXL-394	120日
スノーデントG4589	125日
クミアイデント301	128日
パイオニアデントP3160	130日
ゴールドデントXL-395A	130日
サイレージコンNS-95	130日
スノーデントG4743	132日

(注)相対熟度の日数が少ないほど早生種であり、日数が多くなるほど晩生種

5月集配予定表

- 5月1日(火)宇和川北方面
 - 5月2日(水)岩谷方面
 - 5月7日(月)宇和川南方面
 - 5月8日(火)月野尾・小藪方面
 - 5月9日(水)中津・予子林方面
 - 5月10日(木)大谷方面
 - 5月15日(火)宇和川北方面
 - 5月16日(水)岩谷方面
 - 5月17日(木)宇和川南方面
 - 5月22日(火)月野尾・小藪方面
 - 5月23日(水)中津・予子林方面
 - 5月24日(木)大谷方面
 - 5月29日(火)宇和川北方面
 - 5月30日(水)岩谷方面
 - 5月31日(木)宇和川南方面
- 5月LPG配達予定表
- 5月11日(金)岩谷・小藪方面
 - 5月18日(金)宇和川方面
- 5月LPG配達予定表
- 1日(火)大屋式・大平
 - 2日(水)上石丸・師走野・下小藪
 - 中野
 - 7日(月)藤の原・町・瓜生谷
 - 10日(木)八重栗・上森山
 - 正山
 - 11日(金)久保
 - 14日(月)嵯峨谷・見野越・月野尾
 - 京造
 - 16日(水)広常・影地
 - 18日(金)中津
 - 19日(土)森・脇栄
 - 硯・久下・樋野口・上汗生
 - 22日(火)白石・上小藪・中小藪
 - 25日(金)中居谷・嘉城・道野尾
 - 赤岩
 - 28日(月)大駄場・郷
 - 30日(水)下・中・上敷水・菟野尾

学んで充実した生活を 花を咲かせて美しい町を

平成二年度公民館活動方針

新しい年度にはいりました。

肱川町は、年間でいちばんよい、花の季節を迎えました。

公民館では、平成二年度の活動計画を次のとおり策定しました。

町民のみなさんが、何らかの形で公民館事業に参加して、楽しみながら学習し、ふるさとを考えていけるよう、公民館活動の風おこしを推進していきたいと思ひます。

積極的な参加をお願いします。

◎基本方針

町内のみなさんの学習の手助けをする中核的施設として、いつでも、どこでも、だれとでもを原則に、みんなが自主的に活動できるようにどこころとしての公民館活動を展開します。

◎地域ぐるみで青少年の健全育成につとめよう。

- 地域の豊かな文化を育てよう。
- みんなが参加するスポーツの振興につとめよう。
- お互いの人権が尊重される町づくりをしよう。

◎重点施策

- 施設の充実
- みんなの集いの場(茶の間)として、また情報センターとして、施設整備の充実をはかります。
- 社会教育情報の提供
- 図書、教材等の整備

◎青年の学習

- 青年の学習
- ふるさと意識を高め、21世紀を担う実践力を持つ青年を育てると

ともに、青年としての教養を深め社会的役割と責任を自覚する青年の活動を推進します。

- ・青年教室
- ・リーダー養成
- ・青年団体育成

◎成人の学習

自主創造の意欲をおこし、生活の質を高め、精神的な豊さを創造するため、活力のある地域づくりをめざす成人の活動を推進します。

- ・有機農業教室
- ・PTA活動
- ・愛護班活動
- ・部落学級
- ・分館活動の推進

◎婦人の学習

健全な家庭づくりと地域における婦人の役割を正しく認識し、教養を高め、輝きのある婦人の活動を推進します。

- ・婦人教室
- ・婦人会の育成

◎高齢者の学習

自己の健康を維持し、社会の変化に対応でき、心豊かな生活を営む学習を進めます。

- ・お四国学級
- ・老人大学
- ・文化財めぐり

◎同和教育

学校・企業・各種団体のつながりを深め、21世紀に向けて明るい同和教育を推進します。

- ・校区別同和教育懇談会
- ・企業、各種団体の同和教育
- ・役員職員の同和教育
- ・同和教育講座

◎視聴覚教育

- ・映画会
- ・ビデオ自主製作
- ・教材としての利用

◎文化活動

地域にねざした文化を創造し、伝統文化の保存・継承と併せて、地域にねむっている文化の掘りおこしを進めます。

- ・神楽、文楽の公演・文化サークルの育成
- ・文化講演会
- ・文化協会の育成
- ・地域文化の掘りおこし

◎文化財の保護と活用

- ・指定物件候補の調査
- ・準文化財の調査と記録
- ・「肱川町の文化財」発行取組

◎広報、展示活動

- ・公民館報の毎月発行
- ・館内の展示活動の充実

◎社会体育

自らの健康づくりのために、進んで参加する社会体育を推進します。

- ・各種スポーツ大会
- ・軽スポーツ教室
- ・スポーツ少年団の育成
- ・体育協会設立準備

◎各機関、団体との連携

各機関、団体との連携により生活改善運動を推進します。

- ・冠婚葬祭を中心とする生活改善運動
- ・善運動
- ・会議中の禁煙運動
- ・あいさつ運動

◎風おこし運動の展開

町内各機関、団体、個人に働きかけ、風おこし運動の一環として肱川町を花いっぱいにする運動を強力に展開します。



ファインダー

公民館結婚式も長い歴史を刻み、社会の流れの変化と共に、少しずつ改良をされ、地元に着して、年間六組から七組の利用が有るようになりました。町内の年間結婚される方々の五〇パーセントぐらいが、利用して戴いてはいるのではないかと考えています。

社会教育活動の一環として、結婚するお二人のしあわせを中心に考え、見栄を捨て、冗費を節約し、出来るだけ簡素に、しかもお二人の新しい門出をみんなで祝う結婚式をやりよう云うのが、公民館結婚式のねらいです。このねらいから見ると、少し緩み過ぎて逸脱している処無きにしても非の感がしますが、街の結婚式場とは、未だ一線を隔れていると思ひます。

先日或る結婚式の披露宴に参加してのことですが、宴もたけなわ皆さんお酒をつぎに立ち回って、賑やかな真つ最中、友人代表のスピーチが始まりました。すると何故か私語が消え、皆さんスピーチに集中されました。

百人余りの小人数でしたが、そのマナーの素晴らしさに感動・敬服しました。豪華なセレモニーといった披露宴も良いでしょう。しかし、参加者の温かい心の溢れる披露宴はもっと素晴らしいとおもいます。わが町の公民館結婚式もそう有りたいたい願っています。

受講生募集

5月から「有機農業教室」を開きます

いま、有機農業が注目をあつめています。しかし、有機農業とはなにか。なぜ、有機農産物が求められるのか。それはどのように栽培し、実践されているのか。これらのことは、あまり知られていないのが現状と言えます。

そこで公民館では、次のとおり有機農業教室を開設し、学習活動をすすめることとしました。受講を希望される方は、お気軽に公民館までお申込みください。

1. 開設要項

- (1) 主催 肱川町公民館
- (2) 開設期間 平成2年5月より3年間
- (3) 開講日 年6回以上(第1回目は5月下旬)
- (4) 費用 教材費一部負担
- (5) 対象 成人男子・婦人
- (6) 申込期限 5月15日(火)
- (7) 申込・問い合わせ先

肱川町公民館(電話34—2307)

2. 学習内容

- ・有機農業とは
- ・有機農業実践者に学ぶ
- ・家族の健康を守る無農薬野菜づくり
- ・農薬の毒性、化学肥料について
- ・土壌診断、土づくり
- ・有機農産物の流通
- ・その他有機農業に関連すること

3. 学習方法

講義・話し合い・参考図書講読・栽培実習・見学・先進地視察等。

※ 栽培実習は自分の畑を原則としますが、畑を所有されていない方については、準備した実習園で栽培していただきます。

上鹿野川強し! アベックV

男女ともに制す ＝町内バレーボール大会＝

恒例の町内バレーボール大会を四月十五日(日)に、農業者トレーニングセンターを主会場に開催しました。

今回から男女とも年齢制限なしのチーム編成をとり入れましたが、男子十一チーム、女子十チームの参加があり、それぞれ分館や部落の代表として力一杯のプレーがみられました。

男子は、肱川中学校と予子林小学校の体育館に分かれて予選を行いました。熱戦の末、上鹿野川がトレーニングセンターでの決勝トーナメントを制し、見事優勝しました。

女子は、トレーニングセンターで予選決勝戦を行い、上鹿野川が貫



ネットぎわの応酬…
(女子)上鹿野川と正山の決勝戦

縁をみせ、優勝しました。

平成二年度はじめての社会体育行事は、このように盛り上がりを見せ、終了しました。

各選手のみなさん、役員のみなさん、おつかれさまでした。

新職員紹介



大井 章裕
おおい あきひろ

この度、新規採用職員として公民館に勤務する事になりました。私の抱負と致しましては、一人ひとりが持つ人間性を大切に、逞しい体、豊かな心、優れた知性を持ち、明るく住みよい町づくりに協力して行きたいと思っております。又、自然、民俗、歴史等における文化財の勉強をし、肱川町の発展に繋がる様、諸先輩方と御一緒に頑張っていきたいと思っております。尚、大学を卒業したばかりですので、何かと勉強不足の点がありますが、皆様に御迷惑を御掛けしない様に頑張りますので、宜しくお願い致します。

中央分館主催

子供のど自慢大会 子供カラオケ大会

出場申込受付中です。

- ・とき 4月30日(月)振替休日
12時30分から
- ・ところ 鹿野川園地屋外ステージ

(受付 公民館まで)

転入された先生をご紹介します

新しい年度にはいり、町内の各小・中学校の先生方の異動がありました。紙面の都合で転出された先生は載せられませんが、転出の先生お世話になりました。新しく転入された先生方をご紹介します。

大谷小学校 教頭 西山 章弥
五十崎町の天神小学校から、大谷小学校へまいりました西山章弥でございます。

中野小学校

教頭 井内 功

このたびの異動で、大谷小学校から中野小学校に転勤になりました。大谷小学校の二年間、いろいろとお世話になりました。中野小学校におきましても、よろしくお願ひします。

正山幼稚園

教諭 上野 順子

この度の異動で正山幼稚園でお世話になることになりました。早いもので教職につきましてから五年の年月が過ぎました。

今年、新しい園で、気分も新たに一層頑張りたいと思ひますのでよろしくお願ひいたします。
正山小学校 養教 久保 志保

この度、五十崎中学校より正山小学校へ参りました久保志保と申します。五十崎町に住んでおります。

中野幼稚園助教諭 曾根佐和子

中野幼稚園(保育所)・小学校は私の母校です。校舎はすっかり新しくなりましたが、ところどころに子供の頃の思い出がひそんでいます。

……と、懐かしさに浸ってばかりもいられません。子供がそのまますみだりな感じ、いたらない面ばかりですか、一生懸命頑張りたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ致します。

どうぞよろしくお願ひ致します。

大谷小学校

教頭 西山 章弥

四月一日に大谷小学校を訪れたとき、校庭の桜が満開でした。

見事な桜の下を校長先生に案内していただきながら、大谷地区のことや、地域の人々のことなどをいろいろかぎました。

この桜のように地域の人々の協力によって大谷の教育が開いていくだろうと思われました。

ゆつたりとした山里で、地域の方々の温かい思いやりに支えられながら、子どもたちの教育のために全力をつくす決意を新たにしました。

岩谷小学校 校長 赤坂 章

この度の異動によりまして、岩谷小学校並びに岩谷幼稚園に着任致しました。

本地は私にとりまして身に余る重責であります。町教育委員会をはじめ地域の皆様方のご指導をいただきながら、新たな決意で最善の努力をする覚悟であります。

今後とも格別のご助言、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。末筆ながら皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

り申し上げごあいさつと致します。

出身 五十崎町 年齢 二十八

住所 大洲市徳森

趣味 ウィンドサーフィン・パソコン・自転車

このたびの異動により、隣村の河辺小学校より岩谷小学校に転任してまいりました。昨年までは、何げなく通り過ぎていた岩谷小学校だったのですが、まさか自分がこの学校にお世話になるとは、思ってもみませんでした。

とにかく、明るいのが私の取り柄ですので、子供たちと楽しく勉強したり、歌ったりしたいと思ひます。

予子林小学校 教頭 金井 碩

二十年振りに肱川町へ帰って来ました。思えば二十三年前に新採教員として、肱川中学校へ赴任し、二年間お世話になりました。その時は、若さにまかせて過ごしてしまひ、子供、父兄、職員の皆様に御迷惑ばかりかけたように思ひます。でも、日々の生活は、子供、父兄、職員に恵まれ楽しい日々を送ることができました。

今また、この思い出多い地で勤めることになり懐かし、うれしく思っています。小学校は初めてなのでいろいろと御迷惑をかけると思ひますが、子どもと共に成長したいと思ひますのでよろしくお願ひ致します。

この度の異動によりまして、河辺村立河辺中学校から、予子林小学校に転任してまいりました。私は、肱川町内の学校に勤務するのは初めてですが、今年の三月までの二年間、肱川町に住んでおりましたので、少しは町内の様子がわかっているつもりです。予子林小学校においては、初めての養護教諭で、責任の重大さを痛感していますが、純朴な子供達の気持ちを理解すると共に、地域の方々の期待にこたえられるよう、精一杯努力したいと思ひます、どうぞよろしくお願ひ致します。

肱川中学校 校長 佐川 敬

悠々として急げ

松山にも大洲にも勤めました。喜多郡では、五十崎町・内子町、長浜町、河辺村、そして再び内子町……と転々として、ずいぶん回ったつもりですが、肱川町だけが残ってしまいました。

これで、郡内全町村に勤務したことになります。本心に、安心してました。

花を浮べて流れる肱川を眺めながら、思い出したのが文題に掲げた言葉です。先だって亡くなった作家の言葉ですが、胸いたく共感しています。

ともあれ、どうか、よろしくお願ひいたします。

花を浮べて流れる肱川を眺めながら、思い出したのが文題に掲げた言葉です。先だって亡くなった作家の言葉ですが、胸いたく共感しています。

ともあれ、どうか、よろしくお願ひいたします。

ともあれ、どうか、よろしくお願ひいたします。

俳句の道に 句碑が建ちました



建てられた句碑と上隅氏ご夫妻

ダムから鹿野川園地へ途中の広場に句碑が建てられ、この除幕式が四月十四日、関係者三十人が参列して盛大に行われました。
—高さ八十五センチの自然石には上隅まさる氏(せきれい主幹)の作品「石楠花ハ、蝶の揺り籠 夢の籠」が刻まれています。
この句碑設置は、町観光協会が「俳句の道」整備として計画していたのですが、しゃくなげ俳句会との協力で実現しました。句碑は、毎年、建てられる予定です。 肱川しゃくなげ俳句会(会長亀田美登)は、毎月第3日曜日に町歴史民俗資料館で例会を開いており、

新人の入会を歓迎ということですが、
青年団だより

優良青年団 として受賞

三月十七日、松山市にぎたつ会館において、平成元年度優良青年団の表彰が行われ、肱川町青年団に表彰状が贈られました。
これは、青年団活動に熱心に取り組む、地域活動や広報活動などすぐれた実績を上げている団体に

嫁いでもうすぐ十年、農作業の経験などなく、何も判らない私でした。初めて田んぼに入り、植つけた苗を両親が見て笑いました。
それは足が入らない程植ついていたのです。母は植つての手本を見せてくれました。「なるほど」 私にとっては一つ一つが勉強です。人生体験豊富な両親は、やがて孫が生まれ、私におしめのたみ方、子供の躰、等、アドバイスをしてくれます。
私は両親の知恵をぬすみとり勉強しないとイケないと思ってきました。ところが母が四年前重い病にかかり、自分自身の体が自由に動けなくなった為か口うるさくなくなり、ちょっとびり私は淋しいです。

子供達を体の不自由な両親が一生懸命、育てていただいた事心から感謝します。
子供も四月から一年生。子供達にも、「おじいさんやおばあさん

両親と子供
<209>

リレー随筆
上敷水
和気香代子

が育ててくれたのでりっぱな一生になれるのよ、感謝しなくては」と言ってお聞かせますと、子供は「そうよなお母さんは山に行ってお仕事してたもんな。」子供自身、

判っているような判っていないような?..
病弱な両親だけど、私が主人と喧かしても母はかばってくれます。そんな両親が私の心の支えです。病気に勝っていつまでも長生きして、私の話相手になってほしいです。私も病弱な両親を励まし、子育てを一緒にしてもらい、いろいろな事を両親に学び毎日毎日が人生勉強です。私も両親の娘となり二人の子供の母親として家族で助け合い、頑張って悔いのない人生を送りたいと思います。

新役員きまる

県教育長、県青年団連合会長から贈られるものです。
おめでとうございました。

青年団では、三月三十一日に年度末総会を開き、平成二年度の役員を次のとおり選出しました。
○ 団 長 曾根 靖
○ 副団長 上仲 伸二

- 事務局長 山内きくみ
- 体育部長 兵頭 実
- 副部長 松田 洋幸
- 文化部長 上甲 正子
- 副部長 大野 嘉博
- 副部長 富永 美穂
- 副部長 大田かおり
- 副部長 曾根佐和子
- 中央支部長 久保 寿男
- 正山支部長 村上 正春



ビデオ「風かおる」制作活動の青年団

PTAひじかわ

発行
肱川町
PTA連合会

共に生き、共に考える

町PTA連合会長 安川 哲生

新しい年度を迎え、PTA会員のみなさんには、まずまずご清祥のこととお慶び申し上げます。PTAの活動につきましては、日頃から積極的なご指導をいただきありがとうございます。さて最近、私は新聞、テレビ等で、良く見たり聞いたりするのですが、今の子どもは、「遊ばない」、「遊ばない」、「無気力」、「無関心」、「自立心がない」、「連帯感がない」、「非行」、「暴力」、「いじめ」、「怠学」、「登校拒否」等書き始めたらきりがな

平成元年度の活動…

くなりまして、これらの問題点は、何が原因かと書いたり、言ったりしていられるのを見ると、地域社会と、生活環境の変化、家庭教育力の低下が最も多く述べられています。次代を担う子どもたちにも多くの熱いまなざしと思いが注がれている今日、私達PTAは、これらのことを再認識して、子どもたちに良い手本となっているかどうかを考え、又人間としての豊かさを求める生き方をしているだろうかと改めて考えてみる必要があると思います。生活にゆとりが生まれてきた現代に、「共に生き、共に考える心」を家庭に、地域社会に、皆で育て合い、「子どもの健全な育成」を図りましょう。

大谷幼小PTAの特長

大谷の特長として、「地域と手をつなぐPTA」といつまでも学ぶPTA」の二つがある。

まず「地域と手をつなぐ」については、廃品回収がある。毎年十一月三日の地方祭の前に実施し、地区の大掃除も兼ね紙類とビン類を回収している。また、独居老人な

どで、不燃物の始末に困っている家庭にはそれも回収している。

また、大きな特長として、各種団体との連携がある。十ばかりの団体とつながりがあるが、その中で、二つばかり紹介しよう。大谷地区教育後援会は、教育問題を話し合い、趣旨に賛同して頂

く家庭より寄付を頂き、そのお金を小学校・幼稚園・スポーツ少年団及び青少年健全育成協議会などに援助している。

大谷地区青少年健全育成協議会は、青少年の健全育成を中心に、あいさつ運動・校区内の安全点検・基本的な生活習慣について話し合っている。対象者は、高校生までだが、未成年の有職青年も含む。年末には、会員が手分けをして、小学五年生以上高校生までを対象に年賀状を出すことにしている。

次に、二つ目の特長「いつまでも学ぶPTA」について紹介しよう。現在、生涯学習の方針が打ち出されているが、大谷地区ではその先取りでないが、六年ほど前から父母の教室を開いている。

昨年九月末で教育長をやめられた、当時の肱川町公民館館長大本清光先生が、公民館の行事とし

親子体験学習「そばづくり」

岩谷幼小PTA

本PTAでは、隔月の参観日の外、学年独自の活動を生かすため、年二回の学年PTAを実施しています。今年度は、その中の一回を合同学年PTAとして去る二月二十二日に実施しました。

本校の緑の少年隊が栽培収穫したそばを活用して、親子体験学習「手打ちそば作り」に挑戦し、みんなで舌鼓を打ちました。当日は、天気情報では雨という

て大谷地区に開かれ、それを、翌年から譲り受けた訳である。父母の教室は、年間六〜七回実施し、会員の研修の場・家庭教育力の向上の場・情報交換の場として活動している。

講師は、町公民館より紹介して頂く場合もあり、地区のお年寄りに頼んだり、小学校の教師にお願いするときもある。

学習場所も、大谷分館・小学校・各部落の集会所等である。集会所に出て行くことによつて、幼稚園や小学校に子どもを送りだしていかないご家庭の人たちを集めることができる。だから、参加者は、会員だけでなく準会員も含まれることになる。

大谷PTAでは、以上のように地域と手をつなぎ、いつまでも学んでいこうと努力している。

九時よりまず、安川先生から、そばの歴史、そばと日本文化等についてのご指導の後、菅野先生から、本格的な日本そばづくりの作業工程を資料をもとに説明を受け、いよいよ挑戦です。

その頃より服装を整えた子供たちが、小学生5班、幼稚園児1班に分かれ親子で、粉ねり・素地ふみ・のぼし・切り・釜ゆで・打ち上げ・盛り・汁かけ・配膳といった順序で、九時半から始めた作業は、十二時前に八十食のそばが出来上がりました。

講堂に車座となつて、みんなそれぞれに感謝の気持ち「ありがとう。」の言葉で唱えたあと、「いただきます。」をしたのが、ちょうど十二時でした。「おいしいな」を連発しながら、八ばいもおかわりをした子もあり、八十食のそばを六十人でほぼ平らげました。

思ったより速く片付けも終わり、二時前に「さようなら」をした頃より、我慢をしてくれていた曇天から、二粒三粒と雨が落ち始めました。

本日に、「天の時・地の利・人の和」の三拍子をそろった親子体験学習「そばづくり教室」となりました。

ご指導頂きました風おこし対策室の安川先生、民俗資料館の菅野先生、ご協力頂きました保護者の方々、有がとうございました。心より感謝し、実践報告とします。

正山幼小Pの元年度活動

年間行事で継続している主なものに、親子スポーツ・春と秋の環境整備作業・地区別懇談会・親子炊飯遠足・家庭教育学級・研修旅行がある。これらの全ての活動は、四つの専門部が分担し執行している。

しかし、学年PTAの活動も含めると、月によっては四〜五回も会合を持つことになる。そこで、本年は試みに、五月の行事を一日にまとめて、午前中が授業参観と親子スポーツ、昼食後子供たちを交えてのプール清掃やさつき類の移植を行った。共働き家庭が多くなってきているだけに、度々休みをとらなくてはすむのでよとの声も聞け、次年度の行事の持ち方の一方途となった。

今年新たに行った活動としては、学年PTA正副委員の研修会がある。役員交替期ということもあり、役員の役割・運営のしかた等々を研修した。問題点や悩みを語り合う中で、役員としての自覚や意識の高揚もみられ、初めて役員になった方々には好評であった。それ故、できるだけ早い時期に研修の機会を設ける方が良策のように思った。

これら活動の外に、今年だけ持たれたものに校舎移転作業の手伝いがあった。子供たちや教職員と七月末の酷暑の中、専門部を単位

として、四日間に手分けし移転作業に汗を流した。

この折は、昼間の作業と夜間の懇談会が重なり多忙な日々であったけれど、会員が心を一つにして協力し合い、一挙に終了させることができた。

また、過去二年間は校舎の建築構造を中心とした研修旅行をした

温い心を育てよう

脇中PTA 藤原 洋子

私も平成元年度の総会で、元より浅学非才でございまして副会長の器では無い事も顧みず、お引受けしてから一年がたちました。この間会長をはじめ諸先生、皆様方の御指導により、無事任務を果たす事が出来ました。本当にありがとうございました。

私の方は、何をしたのかよく分からないうちに、一年が終わったような気がします。お蔭様で色々勉強させて頂き、私にはプラスになった面も多かったと思います。立春も過ぎた去る二月五日、「少年式」に出席させて頂きました。

私達大人は、「少年の日」が「自覚・立志・健康」について、少年達が深く考える日である事を、少年達と一緒に考え話し合う必要があると思います。

誓いの言葉で、四十四名全員が

が、木造校舎建築の夢がなかった本年は、内部の設備的をしぼっての研修旅行を行った。

将来、この地域を背負って活動してくるであろう子供たちに、豊かな学習体験をさせてやれるよう、親としてできるだけのことはしてやりたいと地域へも働きかけ、目下検討中である。

集約すれば、校舎改築に伴う活動が多かった年といえよう。

ふれあい行事で児童の健全育成 予子林幼小PTA

予子林PTAでは、地域とのふれあい、親子や、白寿会、中学生など先輩後輩とのふれ合など、ふれあいを目的とした行事を毎年数多く計画致しております。このようなふれあい行事を通じて、地域・親・教師が一体となつて子供たちの健全育成に勤めております。具体的には次のような行事を致しております。

「白寿会との交歓の集い」
おとしよりの交流が目的で、猿ヶ滝公園の清掃を行い、手作り弁当やレクリエーション等をして親睦を深める。いのこつきでいただいたお金の一部を児童会から白寿会へプレゼントする。

「親子一泊研修会」
夏休み中の土日を利用して行う。場所は、予子林小校庭、御在所自然の森、海水浴やキャンプ等のできる海岸。参加者は、幼小中高校生、帰省客、PTA会員。キャンプファイヤー、海水浴、釣り、飯合炊飯等を行う。

「親子錬成会」
以前は親子座禅会、しつけに関する教室などを行っていた。最近では、学校農園で、小麦、サツマイモ、シイタケ等を作り、当日は小麦マキ、ヒガシイモ、干柿、手打ちうどんなどを作り、最後にみんなで作りうどんを食べる。

「いのこつき行事」
十月の初猪にもに行う。小中学生全員参加、部落単位で中学生が班長になり校区内全戸廻る。いただいたお金は、一部小中学生の

この様なふれあいを通じて子供たちが色々な事を学び、経験し心身ともに健全に成長してくれる事を願っています。

後継者の育成

中野小PTA 堀井 一男

中野小学校の現在の児童数は、百二十一人。十年前百四十一人、二十年前百九十人、三十年前三百七十人、六十年前百二十九人である。

今後のPTA活動を考える時、いかにして、安定的に、町内で、生活出来る後継者を育てて行ける環境を作るかが大切だと思う。

現在の町内の幼稚園、小学校、中学校の人数は全員で五百二十九人であり、平均すると約四十八人となる。

そのために、今何をなすべきかを考え、それぞれの立派で、出来る事から、目標に向かって、日々、努力して行こうと思う。

5月の行事予定表

5月	1	・肱川町防災の日	20	・町内クロッケー大会	中 旬	・営農林推進会議正副座長会
	6	・春の道路愛護デー	〃	・少年ソフトボール大会	21	・定例部落長会
	7	・肺がん検診	中 旬	・町老人クラブ連合会総会	22~25	・肱川中学校修学旅行(2年生)
	〃	・行政相談	15~17	・町連合小学校修学旅行(6年生)	28	・税金等出張受入れ
	11~15	・お四国学級出発(第9期生)	中 旬	・町連合小学校松山見学(4年生)	下 旬	・高齢者創作館運営委員会
	7・21	・心配ごと相談	〃	・町遺族会総会	〃	・理事会、評議委員会(社協)
	10	・農業委員会	〃	・人権相談		
上 旬	・川上商工会総会					

5月の日曜・祝日当直医

日	当 直 医	電 話
3 日 (木)	町 田 医 院 (内子町)	43-0211
	清 家 医 院 (大洲市東大洲)	24-6868
4 日 (金)	成 田 医 院 (内子町)	47-0061
	亀 井 医 院 (大洲市東大洲)	24-3757
5 日 (土)	松 浦 医 院 (五十崎町)	44-2776
	松 尾 医 院 (大洲市中村)	24-5803
6 日 (日)	藤 本 医 院 (五十崎町)	44-2561
	池 田 医 院 (大洲市東大洲)	24-3100
13 日 (日)	植 木 医 院 (五十崎町)	44-2215
	沢 井 医 院 (大洲市中村)	24-7530
20 日 (日)	高 橋 医 院 (五十崎町)	44-2010
	泉 医 院 (大洲市東大洲)	24-6407
27 日 (日)	佐々木 医 院 (五十崎町)	43-0101
	松 元 医 院 (大洲市中村)	24-3067

※変更になる場合がありますので前もって連絡してからお出かけ下さい。

救 急 病 院

曜 日	病 院 名	電 話
月・火	大洲市立病院	24-2151
水	加戸病院	24-5101
木～日	大洲中央病院	24-4551

○土地は適正に、かつ計画に従って利用されることが必要です。

○土地については公共の福祉が優先されます。土地は、現在だけでなく将来の町民にとっても限りのある貴重な資源です。町民の生活や仕事にとって不可欠のものであるだけではなく、また、ある人の土地の利用の仕方は周囲の人達に大きな影響を与えるものです。さらに、土地の価格は道路の整備などによって変わるものです。このように、土地は、「公共」の利害に密接に関係する特性を持っています。

このため、土地については公共の福祉が優先されることが必要であり、土地の取得、利用、処分には当たっては、公共の福祉のために土地の特性に応じた制限や負担が課されることが必要となります。

5月7日(月)	日程	場 所	時 間
保健センター	予子林農協前	大洲縫製 宇和川工場	午前9時30分 午後11時30分
〃	午後1時30分	〃	〃
〃	午後2時	〃	〃
〃	午後3時30分	〃	〃

◎肺がん検診

5月21日(月)	日程	場 所	時 間
保健センター	〃	〃	午前9時 午後10時

◎ムシ歯予防教室

保健・衛生

◎5月の不燃物収集
▽収集日 5月15日(火)
(出すのは5月14日中に)
▽収集地区
小畑井・萩野尾・汗生・小藪・大和・肱栄・中野(篠谷を除く)・大谷・鹿野川

◎不用犬回収日
▽日時 5月8日(火)
午前9時まで
▽場所 保健センター
※印鑑をご持参ください。

◎健康づくり料理教室

日程	場 所	時 間
5月10日(木)	大谷公民館	午前10時
5月15日(火)	肱栄集会所	午後2時

◎行政相談
▽日時 5月7日(月)
午後1時30分～4時30分
▽場所 肱川町公民館
▽相談員 福田 保委員
※自宅相談も受け付けています。
☎三四一二五〇八

◎相談ごと案内

相談日	担 当 相 談 員
5月7日(月)	福田 睦江 保
5月21日(月)	宮田 千鶴 江

「土地月間」について

○実施期間 四月一日から四月三十日まで

お誕生おめでとうございます
該当者なし

共 栄 藏田ミツエさん (73歳)

中 津 岡山チドリさん (79歳)

中居谷 福嶋タケヨさん (83歳)

小畑井 坂本タマルさん (73歳)

小 倉 大森 高一さん (90歳)

★★★★★
ごめいふくを
お祈りいたします
★★★★★